

ランドのコーナーの種類、遊び方、ルール工夫

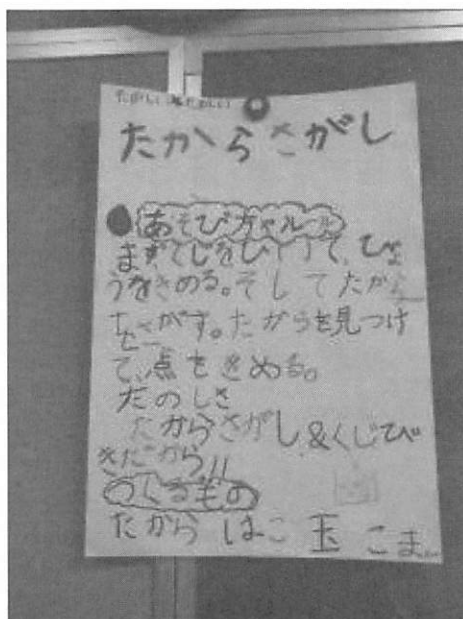
ここが
ポイント

おもちゃランドのお店！

- 「宝探し」…くじを引いて時間を決め、宝を探す。
- 「くじ引き&ビー玉迷路」…くじを引いてコースのレベルを決める。
- 「箱の中身はなんだろう」…中に何が入っているか当てる。1分間で何回当てられるかを競う。
- 「ゴルフ」…くじ引きでコースを決める。
- 「くじ引き&シルエット」…くじを引いてレベルを決める。紙の向こうに何か物があるので影を見て当てる。
- 「コロコロボール」…一つは段ボールを点数に当てるゲーム。もう一つはペットボトルに当てて何本倒すかというゲーム。

活動のスタート時にわくわくしていた子どもの意欲がいつまでも持続するように、めあてとおもちゃについて具体的なイメージを話し合い、ポスターにしておきます。いつも近くに置いておくことで、最初にもった思いや願いを思い出せます。

お客さんが喜んでくれたり、楽しんでくれたりするための工夫を考える時、おもちゃへの色塗りや飾り、景品作りなどについて目が向いてしまいがちです。あくまでもおもちゃそのものや遊び方を工夫することを大事にしてもらいたいものです。おもちゃランドの目的と離れたときは、ポスターを確認することで自分たちで思い出し、軌道修正することができます。



ここが
ポイント

お客さんが楽しめるお店を考える！



お客さんが楽しめるお店とは…
子どもたちと話し合っただけ決めたポイントは3つ。

- ①待ち時間を少なく
- ②誰でも楽しめるように
- ③誰にでもわかりやすい

このポイントは、写真のように掲示し、いつでも立ち戻って自分のおもちゃを見つめ直し、改良や工夫ができるようにします。

ここが
ポイント

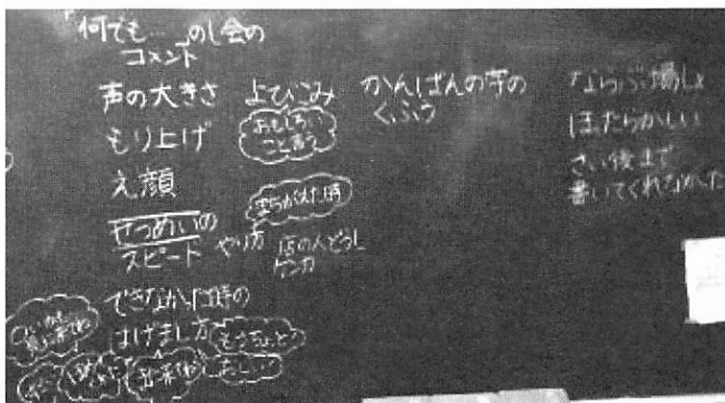
お客さんを楽しませる工夫に気付く！

おもちゃランドの場合、お客さんに喜んだり楽しんだりしてもらうための工夫は、3種類あります。

1つ目は、おもちゃそのものの工夫。強度、数、動きの面白さなど。

2つ目は、遊び方の工夫。コースを作ったり、レベルや学年別のルールを考えたりするなど。

3つ目は、接客の工夫です。声の大きさや表情、説明の仕方など。



リハーサルでお客さん役、お店屋さん役を実際にやってみることで、様々な面からの気付きが得られるようになります。おもちゃの種類が違っていても、共有できる工夫もあるので、気付きを全体で交流することも考えられます。